

# 東海大学海洋学部 特修ゼミ

## 総合地球環境学研究所エリアケイパビリティープロジェクト研究会

### —石西礁湖におけるサンゴ礁の保全と利用—



**概要：**石垣島と西表島の沿岸に広がる石西礁湖は、日本最大のサンゴ礁海域です。豊かなサンゴ礁生態系に支えられ、漁業や観光業に利用される石西礁湖ですが、高水温や赤土の流出、オニヒトデの大量発生等様々な影響にさらされてサンゴ礁の減少が危惧されています。本研究会ではそうした石西礁湖のサンゴ礁やそこで営まれている漁業について専門の先生にお話を伺います。

#### 有元 貴文

(東京海洋大学 教授)

1961年、東京生まれ。専門は海や川に生きる動物の行動学、行動生理学。大学院の研究テーマであった魚の群れ行動についての実験から漁業研究の世界へ入り、魚類やエビ・カニ、イカといった漁業で対象とする動物の行動を明らか



かにするため、泳ぎ方や視覚能力についての生理学的研究を行なっている。動物の行動を学ぶことのおもしろさだけでなく、漁業という食料産業の大事さ、そして持続的な生産を実現するための基礎となる知識と技術の普及に努めている。



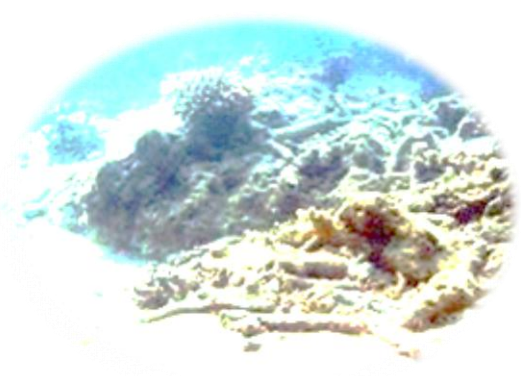
#### ヤップミンリー

(総合地球環境学研究所 研究員)



マレーシア出身。高校卒業後に日本へ留学し、東京水産大学の水産学部を経て、サンゴを研究テーマに東京海洋大学大学院の修士・博士課程を修了。現在は、総合地球環境学研究所にて

「東南アジア沿岸域におけるエリアケイパビリティーの向上」プロジェクトの研究員。専門はサンゴの生態学（特に有性生殖を用いたサンゴの再生と自然界におけるミドリイシ科サンゴの初期生態）。主なフィールドは、日本の石西礁湖とインドネシアのマナド。



## プログラム



13:30 受付開始

14:00~14:10 開会挨拶

14:10~16:00 「サンゴ礁での持続的な漁業とは?~15年前の石西礁湖調査から」(有元氏)

15:00~15:50 「石西礁湖におけるサンゴ群集の現状と再生について」(ヤップ氏)

15:50~16:00 閉会挨拶



参加無料

日時：2013年6月1日（土）14:00~16:00

場所：東海大学海洋学部 3号館3401号室

問い合わせ：東海大学海洋学部 環境社会学科 仁木将人 niki@scc.u-tokai.ac.jp

李 銀姫 riginki@tokai-u.jp

☆本特修ゼミは総合地球環境学研究所エリアケイパビリティープロジェクトの支援を受けて開催します。